

# 大村子供の家広報誌 きっずうえいぶ

## イルカウォッチング



10月最後の土曜日、眠い目をこすりながら、どこかワクワクした表情の子供たちが登所してきました。南島原の口之津港でイルカウォッチングに出かける日です。この日を子ども達は首を長くして待っていました。

バスに乗り込み、途中休憩を取りながらおよそ1時間半(子ども達にはとっても長い時間を感じられたと思います。)、待ちに待ったイルカとの対面です。乗船前に、みんなで船酔いする前の勇姿を撮影し、大はしゃぎしながら船に乗ること10分。すると船のすぐ近くまでイルカの群れがやって来ました。野生のイルカに大興奮



奮の子供たち。興奮を周りに伝えるように指をさしながら「イルカだよ。イルカが見えたよ!!」と子ども達の歓声が船上に響きわたっていました。イルカも子ども達に大

サービスしているかの様子でした。悠々と泳ぐイルカを存分に楽しんだ後、船から降りてお弁当。(船酔い者ゼロで一安心)美味しく完食でした。

その後バスは口之津港を後に帰路に……。途中、観光センターに立ち寄り子ども達はお買い物体験をしました。電卓片手の店員さんと上手にやりとりして家族や友達、自分のお土



産を買っている子や、初めて一人でお買い物する子たちは、なかなか品定めが出来ずバスの出発時刻を気にするスタッフを困らせていました。早めに買い物を終えた子ども達は千々石名物『じゃがちゃん』をおいしそうに食べていました。

帰りのバスの中は、疲れて寝る子や興奮冷めやらぬ顔でお話が弾む子など、子ども達にとって思い出に残る一日になりました。

帰りのバスの中は、疲れて寝る子や興奮冷めやらぬ顔でお話が弾む子など、子ども達にとって思い出に残る一日になりました。

## ワクワクした恐竜博物館

春を感じる暖かさが心地良い3月12日（土曜日）、軍艦島も眺めることができる長崎市野母崎地区に昨年10月29日にオープンした恐竜博物館に行ってきました。往路のバスの中では子供たちの期待に胸膨らむ話し声が響き合っていました。

恐竜博物館到着。さっそく博物館の恐竜の銅像の前で記念写真をパシャリ。大騒ぎして楽しそうに動き回る子供たちの顔にシャッターを切る手が止まりませんでした。

中に入れば恐竜の骨格や模型がズラリと大迫力。特に動くティラノサウルスに子供たちの目は釘付けでした。恐竜の頭蓋骨のデッサンに挑戦する子や骨に興味津々の子、解説をしっかりと読み込む子など様々な楽しみ方をしていました。

大迫力の恐竜を楽しんだ後は軍艦島が見えるホテルのレストランでお昼ご飯。レモンの乗ったお肉の中にはご飯を何回もお替りする子もいました。

ご飯を食べた後はホテルの中庭をお借りして少しの休憩時間。良い景色と程よく膨れたお腹が子どもたちの気持ちを高ぶらせたのか今日一番の笑顔を見せていました。

軍艦島を背景に最後の記念写真を撮り終え、さあ大村へ帰る時間となりました。

帰りのバスの中ではクイズしたい人と音楽を聴きたい人で意見が分かれていましたが、イントロクイズに決定し楽しく過ごしながら帰りました。子ども達からは「もう一回行きたいね。」という声が聞こえていました。



ようこそ恐竜博物館へ



動くティラノザウルス